

令和2年度第1回江別市地域公共交通活性化協議会（書面会議）説明書

委員各位 への お願い	事務局からの報告です。 当事項に関して、ご意見等がございましたら、別紙「回答書」へのご記入をお願いいたします。
-------------------	--

次第項目	2 報告事項 豊幌地区におけるデマンド型交通運行の意向について
参照資料	資料1

説 明

(1)報告の主旨

豊幌地区の自治会から事務局（江別市）に対し、自治会が主体となってデマンド型交通の実証運行事業を実施したいとの意向が表明されましたので、この旨をご報告いたします。

(2)これまでの経緯

公共交通の利用が不便な市郊外部においては、自家用車を利用することができない高齢者等の移動手段の確保が課題となっています。江別市地域公共交通活性化協議会では、既存公共交通を補完する新たな交通手段の導入に関し、この検討を進める地区を、江北地区と豊幌地区の2地区とすることを確認しています（平成28年度第3回協議会：平成29年3月28日開催）。

その後、各種協議、検討などの結果、江北地区では、地元の市民活動団体（特定非営利活動法人えべつ江北まちづくり会）が事業主体となり、市内タクシー事業者（山崎自動車工業株式会社、通称「山崎ハイヤー」）が運行業務を受託して行う形態の「江北地区デマンド型交通」の実証運行が、平成30年12月から開始されています。

一方の豊幌地区においても、地元の自治会である豊幌両自治会連絡協議会（豊幌町内自治会、豊幌自治会の2自治会で構成）が江北地区をモデルケースとしながら、同地区に合った交通手段について検討を進めてきたところです。

(3)意向の概要

令和2年5月に、豊幌両自治会連絡協議会から事務局（江別市）に対し、デマンド型交通の実証運行事業を実施したいとの意向が表明されました。資料1「豊幌地区におけるデマンド型交通（地区の意向概要）」は、その内容をまとめたものです。

概要としましては、

- ・豊幌両自治会連絡協議会が事業主体となって、豊幌地区内の高齢者等の通院、買物等を支援するためのデマンド型交通の実証運行事業を実施したい。
- ・事業のうち実際の運行業務は、江別市内のタクシー事業者に委託する（委託先は未定）。

（裏面へ続く）

- ・豊幌地区と江別市街地の間で、事前予約制により週5日程度、1日3往復程度の利用ができるようにする。
- ・利用者は、豊幌地区内に居住している高齢者や身体の不自由な方等で、利用登録している方（会員制）とする。
- ・事業費は、利用登録者の会費、利用者が1乗車ごとに支払う運賃、江別市からの補助金を財源とする。
- ・2021年4月からの運行開始を目標として準備を進めて行く。

といったものです。

事業の仕組みとしては「江北地区デマンド型交通」と同様であり、豊幌両自治会連絡協議会では、今後、詳しい制度設計の構築に取り組んでいきたいとのことです。

事務局（江別市）としましては、引き続き、豊幌両自治会連絡協議会と協議しながら、連携して当該意向の実現を目指す考えですので、委員各位におかれましても、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

（以上）